



件名

令和4年12月の定例記者会見について

内容

1. ふるさと納税を活用したクラウドファンディングの寄附受付開始について
・・・U&Iときめき課 P1
2. 佐久長聖高等学校硬式野球部 藤原弘介監督 講演会の開催について
・・・生涯スポーツ課 P4
3. 地域プロモーションアワード2022「パンフレット部門、動画部門」で産業振興部の作品がダブル受賞・・・商工観光課 P6
4. 国際大学「IUJむすびばカレッジ」の開催について
・・・企画政策課 P13

○南魚沼市観光協会からの情報提供

- ・南魚沼市雪まつりについて

○南魚沼市まちづくり推進機構からの情報提供

- ・MUSUBI-BA（事業創発拠点）イベントスケジュールについて

《1月定例記者会見：令和5年1月27日（金）午前11時～予定》

《お問合せ先》

南魚沼市 総務部 秘書広報課

担当：秘書広報班 上村 直樹

電話 025-773-6658

FAX 025-772-3055

メール hisyo@city.minamiuonuma.lg.jp



件名

ふるさと納税を活用したクラウドファンディングの寄附受付開始！
～多世代交流拠点【こしひかりハウス】整備事業プロジェクト～

内容

南魚沼市では12月16日から『多世代交流拠点【こしひかりハウス】整備事業プロジェクト』へのふるさと納税型クラウドファンディングの寄附受付を開始しました。

古民家再生の分野では世界的な知名度を誇るドイツ人建築デザイナーでカールベンクスアンドアソシエイト有限会社取締役の「カールベンクス氏」と、南魚沼市を拠点に若者と地域の「人づくり」と「人つなぎ」を行なっている「一般社団法人 愛・南魚沼みらい塾」が共創する多世代交流拠点整備事業についてふるさと納税制度を活用して南魚沼市が支援するものです。

今回のクラウドファンディングでは、本プロジェクトにご賛同いただいた返礼品提供事業者から返礼品金額の一部を応援いただくことにもなっており、寄附に対する返礼品はこれらの賛同事業者の特産品から選ぶことができます。

誰もが自分らしく居られる「個性溢れる人々が集まる多様性に富んだローカル」の場をつくるために官民連携して取組を進めていきます。

□■ 事業の概要 ■□

◆プロジェクト名：多世代交流拠点【こしひかりハウス】
整備事業プロジェクト

◆寄附受付サイト：ふるさとチョイス

◆受付期間：12月16日～令和5年3月15日（90日間）

◆プロジェクト URL：<https://www.furusato-tax.jp/gcf/2198>

詳しくはプロジェクトページをご覧ください。



添付資料

・リリース資料

《お問合せ先》

南魚沼市総務部 U & I ときめき課

担当：ふるさと創り班 中 俣

電話 025-773-6659

FAX 025-772-3055

報道関係者各位
プレスリリース

2022年12月22日
南魚沼市役所

ふるさと納税型クラウドファンディングを開始
食を通じた交流拠点をつくりたい！
雪国が育む南魚沼の食や日常を楽しむ【こしひかりハウス】を
古民家建築家カールベンクス氏と共創する！
～多世代交流拠点【こしひかりハウス】整備事業プロジェクト～

南魚沼市は2022年12月16日から『多世代交流拠点【こしひかりハウス】整備事業プロジェクト』へのふるさと納税型クラウドファンディングの寄附受付を開始しました。



【整備後の多世代交流拠点のイメージ図】

■プロジェクト概要

プロジェクト名： 多世代交流拠点【こしひかりハウス】整備事業プロジェクト

期間： 2022年12月16日(金)～2023年3月15日(水)

URL： <https://www.furusato-tax.jp/gcf/2198>



古民家再生の分野では世界的な知名度を誇るドイツ人建築デザイナーでカールベンクスアンドアソシエイト有限会社取締役の「カールベンクス氏」と、南魚沼市を拠点に若者と地域の「人づくり」と「人つなぎ」を行なっている「一般社団法人 愛・南魚沼みらい塾」が共創する多世代交流拠点整備事業について、南魚沼市がふるさと納税制度を活用して支援するものです。

誰もが自分らしく居られる「個性溢れる人々が集まる多様性に富んだローカル」の場をつくるために官民連携して取組を進めていきます。

■返礼品について

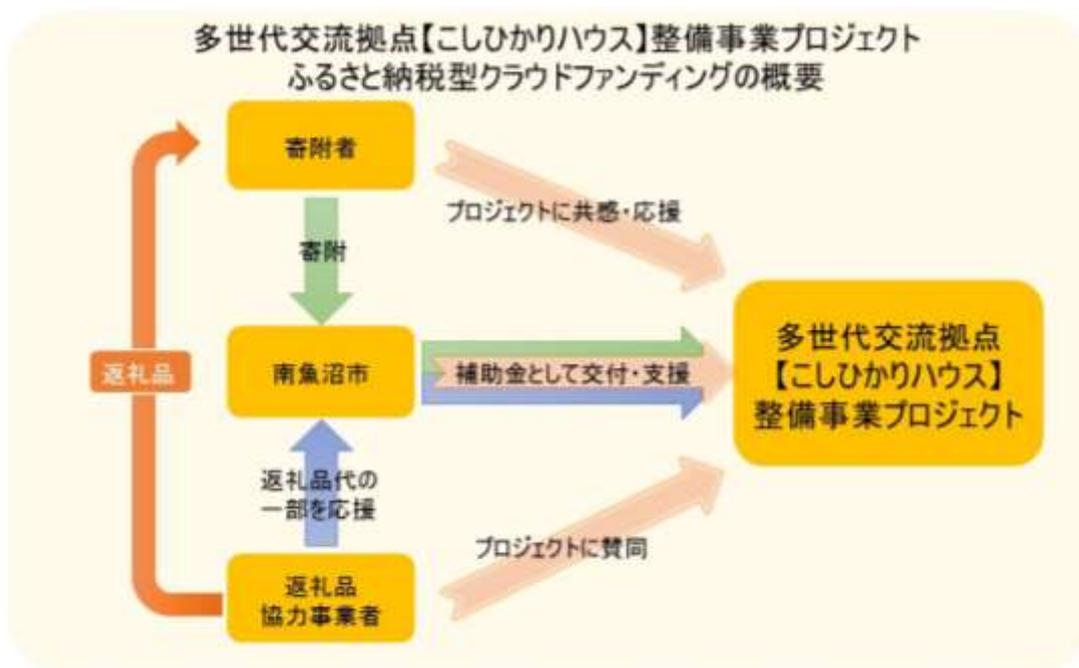
今回のふるさと納税型クラウドファンディングでは、本プロジェクトにご賛同いただいた返礼品提供事業者から返礼品金額の一部を応援いただくこととなっており、寄附に対する返礼品はこれらの賛同事業者の特産品から選ぶことができます。

【応援事業者一覧】

- ・ accos
- ・ 株式会社梅蛸
- ・ 株式会社金田屋酒店
- ・ ひらくの里ファーム株式会社
- ・ みなみ魚沼農業協同組合
- ・ 雪国酒舗 金澤屋酒店

※50音順(2022年12月16日現在)

※応援事業者は追加される場合があります。



■南魚沼市のふるさと納税について

南魚沼市のふるさと納税は2021年度寄附額が45億円を超え、新潟県内で始めてトップになりました。主な返礼品としては、お米のブランド米である「南魚沼産こしひかり」、市内の3酒蔵で醸造された日本酒（八海山・鶴齢・高千代）などがあり、八色しいたけや八色西瓜などの農産物も人気を集めています。

また、近年は冬の雪を倉庫に貯め、通年を通じて温度管理や湿度管理をする雪室貯蔵のお米、お酒、お肉なども注目を浴びています。

担当：南魚沼市 U&I ときめき課 中俣
TEL：025-773-6659
FAX：025-722-3055
Mail：furusato@city.minamiuonuma.lg.jp



件名

佐久長聖高等学校硬式野球部 藤原弘介監督 講演会の開催について

内容

本市では、「雪国で共に創るスポーツを通じた健康増進プロジェクト」の一環として、市民が生涯を通じて日常的にスポーツに親しむことを目的に、佐久長聖高等学校硬式野球部 藤原弘介監督の講演会を開催します。

藤原監督は、監督就任後、佐久長聖高校を甲子園へ5回出場に導く監督ですが、子供たちの将来を見据えた進路指導に力を注がれており、人生や社会においても活かされるスポーツの力と学校での学びの両立に取り組まれており、「スポーツと学校教育の両立に挑む！」と題して講演いただきます。

皆様から、ぜひ周知、取材いただきますようお願いいたします。

記

1. 題名 「スポーツと学校教育の両立に挑む！」
2. 講師 佐久長聖高等学校硬式野球部監督 藤原弘介氏
3. 日時 令和5年1月22日（日曜日） 13：30～15：00
(13：00開場)
4. 会場 南魚沼市民会館多目的ホール
5. 定員 200名（参加無料・先着順）
6. 申込み 市ウェブサイトの専用フォーム又は生涯スポーツ課に電話によりお申込みください。
(電話：025-773-6630)

添付資料

・チラシ

《お問合せ先》

南魚沼市教育委員会生涯スポーツ課

担当：生涯スポーツ係長 梅澤

電話 025-773-6630

FAX 025-772-8161

1/22日

「スポーツと学校教育の 両立に挑む！」



佐久長聖高等学校 硬式野球部監督



藤原弘介氏

講演会



硬式野球部監督就任後、夏の甲子園に5回導く。

そこには、子供たちの将来を見据えた指導方法が！

「学ぶ」を引き出す「スポーツの力」について講演いただきます。

【藤原 弘介氏 略歴】

1974年大阪府河内長野出身
PL学園硬式野球部在学中、第64回選抜甲子園大会ベスト8

大阪経済法科大学卒業後、平成10年PL学園硬式野球部コーチに就任し、監督、副部長を歴任。その間、春3回、夏5回、甲子園に導く。

平成24年佐久長聖高校硬式野球部監督に就任し、現在に至る。令和4年、佐久長聖高校として夏の甲子園5回目の出場

令和5年

入場無料

1月22日

13:30~15:00
(13:00開場)

会場

南魚沼市民会館多目的ホール

南魚沼市六日町 865番地

定員
200人

申込方法

【電話】025-773-6630
(平日 8:30 ~ 17:15)

【オンライン】

右のQRから
お申し込みできます



申込みフォーム

お問い合わせ

南魚沼市教育委員会生涯スポーツ課



件 名

「地域プロモーションアワード2022」

パンフレット部門、動画部門で産業振興部の作品がダブル受賞

内 容

商工観光課で作成したパンフレット「COLOR of Minamiuonuma」及び農林課で作成した動画「南魚沼産コシヒカリ KNOW THE FUTURE × MUSIC」を「地域プロモーションアワード2022」に応募した結果、下記のとおり両作品において審査委員賞を受賞したことを報告いたします。

○地域プロモーションアワードとは…

地域プロモーションの強化を応援するため、全国各地で地域の魅力を発信しているパンフレットとプロモーション動画を、「ふるさとパンフレット大賞」と「ふるさと動画大賞」として募集・表彰し、全国に紹介する一般財団法人地域活性化センターが主催する企画です。

記

1. ふるさとパンフレット大賞(第10回)

作品名 「COLOR of Minamiuonuma」

応募数 108 作品(受賞は7 作品)

受賞名 地域活性化センター賞

2. ふるさと動画大賞(第4回)

作品名 「南魚沼産コシヒカリ KNOW THE FUTURE × MUSIC」

応募数 136 作品(受賞は8 作品)

受賞名 松原亨賞

添付資料

- ・ニュースリリース (抜粋)

《お問合せ先》

南魚沼市産業振興部

担当：商工観光課 齋 喜 電話：025-773-6665

農 林 課 永 山 電話：025-773-6663

FAX：025-773-6710(共通)

ふるさとパンフレット大賞（第10回）審査結果

開催趣旨

地域活性化センターでは、ふるさとの魅力を発信するプロモーションを支援するため、地域の魅力を独自のセンスで発信している優れたパンフレットを表彰し、全国に紹介する「ふるさとパンフレット大賞」を平成25年度から開催している。

パンフレットによる地域情報発信を引き続き支援するため、「地域プロモーションアワード」の一環として年に一度「ふるさとパンフレット大賞」を開催し、全国各地の趣向を凝らしたパンフレットを募集、表彰する。

審査委員

審査委員長	南 伸坊 氏	(イラストレーター)
審査委員	楓 千里 氏	(國學院大學研究開発推進機構 教授)
	パッケン 氏	(お笑いコンビ パッケンマッケン)
	マッケン 氏	(お笑いコンビ パッケンマッケン)
	川住 昌光	(一般財団法人地域活性化センター 常務理事)

応募作品数

108点

受賞作品数

7点

賞 (各1点)	受賞自治体・作品名
大賞	佐賀県・長崎県 「SとN 6号」
優秀賞	三重県いなべ市 「いなべ、暮らしを旅する。2022」
南伸坊賞	松本広域連合 「da・da」
楓千里賞	大阪府東大阪市 「トライくんの東大阪だいぼうけん」
パッケン賞	秋田県にかほ市 「漁師図鑑」
マッケン賞	埼玉県熊谷市 「くまがや雪くまガイド」
地域活性化センター賞	新潟県南魚沼市 「COLOR of Minamiuonuma」

ふるさとパンフレット大賞（第10回） 入賞作品

《大賞》
佐賀県・長崎県
「SとN6号」



《南伸坊賞》
松本広域連合
da・da



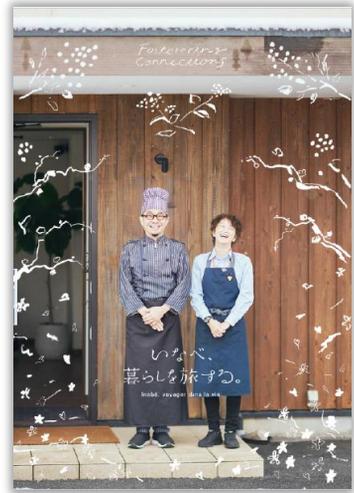
《パッケン賞》
秋田県にかほ市
漁師図鑑



《マックン賞》
埼玉県熊谷市
くまがや雪くまガイド



《優秀賞》
三重県いなべ市
いなべ、暮らしを旅する。2022



《楓千里賞》
大阪府東大阪市
トライクんの東大阪だいぼうけん



《地域活性化センター賞》
新潟県南魚沼市
COLOR of minamiuonuma



地域活性化センター賞

新潟県南魚沼市

COLOR of Minamiuonuma



作品概要

四季を通じて移り変わる雪国・南魚沼市の美しい風景を中心に、南魚沼市を紹介する一冊になっています。

南魚沼市の魅力を引き出すために、こういった構成にしたらよいか試行錯誤しました。四季折々に彩られる魅力を伝えたく、タイトルを「COLOR of Minamiuonuma」にしました。



WEBパンフレットはこちら。

<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/shisei/chiiki/1014013.html>



川住 昌光 審査委員

審査コメント

何とんでも「色」に圧倒される。その色のもつ力で南魚沼の魅力がこれでもかとばかりに表現しようとしているコンセプトはあっぱれ。あまりにも色のフィルタリングをかけすぎじゃないかという声もあるが、出来栄がそんな声を圧倒する。魅せたもの勝ち。マスにこぼれるお酒、黄金色一色の田園など、まさに印象派の傑作です。

受賞団体コメント

この度は大変光栄な賞をいただき、誠にありがとうございます。

雪国である南魚沼市は、冬には多くの方がスキーやスノーボードを楽しむために訪れます。しかし、雪の季節はもちろん雪のない季節にも、南魚沼市には四季を通じて移り変わる美しい景色や特産品などがたくさんあります。その魅力を多くの人に知っていただくよう、写真で伝えるパンフレットを制作しました。タイトルは、冬に一面真っ白になるまちが四季折々に彩られる魅力をお伝えしたいという思いから、『COLOR of Minamiuonuma』としました。

南魚沼市の魅力を引き出すためにはこういった構成にしたらよいか試行錯誤し、「春夏秋冬」の順ではなく冬から始まる構成となっています。

英語版も完成しており、デジタルブックでも公開しています。国内外問わず多くの方に見ていただき、南魚沼市を知り、訪れるきっかけになれば幸いです。

ふるさと動画大賞（第4回） 審査結果

開催趣旨

デジタル・IT分野の発展とともに、年々動画コンテンツは多様性に富んだものとなり、人々の日常に深く溶け込んでいる。自治体においても、ふるさとの魅力を発信するプロモーションとしてデジタルマーケティングの推進は欠かせないものとなっている。

この流れを受け、地域活性化センターでは、動画コンテンツによる地域情報発信を支援するために、「地域プロモーションアワード」の一環として年に一度「ふるさと動画大賞」を開催し、全国各地の創意工夫に満ちた動画コンテンツを募集、表彰する。

審査委員

審査委員長	箭内 道彦	氏（クリエイティブディレクター）
審査委員	秋吉 久美子	氏（女優）
	木川 剛志	氏（和歌山大学観光学部 教授）
	松原 亨	氏（株式会社マガジンハウス コロカル編集部編集長）
	谷中 修吾	氏（BBT大学 教授/一般社団法人INSPIRE 代表理事）
	川住 昌光	（一般財団法人地域活性化センター 常務理事）

応募作品数

136点

受賞作品数

8点

賞（各1点）	受賞自治体（上段）・作品名（下段）
大賞	鹿児島県枕崎市 枕（MAKURA）JAZZ～総集篇～
優秀賞	神奈川県小田原市 おだわらでみつけたもの
箭内道彦賞	広島県三原市 三原JKの浪漫【高校生と作る 三原PR動画制作プロジェクト】
秋吉久美子賞	熊本県熊本市 熊本市政令指定都市移行10周年記念スペシャルムービー フルバージョン
木川剛志賞	高知県佐川町 究極のブルー
松原亨賞	新潟県南魚沼市 南魚沼産コシヒカリ KNOW THE FUTURE × MUSIC（2022）
谷中修吾賞	群馬県 The Seasons of Japan in Gunma Prefecture
地域活性化センター賞	高知県四万十町 ヲタ芸で地域おこし？四万十町観光PR動画

ふるさと動画大賞（第4回） 入賞作品

大賞 鹿児島県枕崎市
枕（MAKURA）JAZZ～総集篇～



優秀賞 神奈川県小田原市
おだわらでみつけたもの



箭内道彦賞 広島県三原市
三原JKの浪漫【高校生と作る 三原PR動画制作プロジェクト】



秋吉久美子賞 熊本県熊本市
熊本市政令指定都市移行10周年記念
スペシャルムービー フルバージョン



木川剛志賞 高知県佐川町
究極のブルー



松原亨賞 新潟県南魚沼市

南魚沼産コシヒカリ KNOW THE FUTURE × MUSIC (2022)



谷中修吾賞 群馬県
The Seasons of Japan in Gunma Prefecture



地域活性化センター賞 高知県四万十町
ヲタ芸で地域おこし？四万十町観光PR動画



松原亨賞

新潟県南魚沼市

南魚沼産コシヒカリ KNOW THE FUTURE × MUSIC (2022)



<https://youtu.be/vHSXXK0ONBw>

作品概要

市を代表する特産品である南魚沼産コシヒカリの販売促進を始め、農業の素晴らしさ、従事する人々のカッコよさをPRすることにより、「職業選択肢としての農業の推進」「農業を契機とした南魚沼市への移住定住促進」「観光業を始めとした市内各種産業の活性化」など、動画効果が農業全体、南魚沼市全体へ波及することを目指し、製作した動画です。

南魚沼市在住の若手農業者が自ら企画・演出・出演。楽曲制作・撮影・編集なども市内を拠点とする若手クリエイターが行っています。ぜひ、ご覧ください。



松原亨審査委員
審査コメント

その土地が一番魅力的に見えるのは、そこに暮らす人を羨ましいと思えるとき。「南魚沼産コシヒカリKNOW THE FUTURE×MUSIC」からは、生産者のみなさんがやり甲斐とプライドをもって働き、充実した暮らしを営む「幸福感」があふれ出ていて、眩しい。

その土地に生きる人のハッピーな姿こそ、一番のプロモーションツールだと改めて思う。

受賞団体コメント（新潟県南魚沼市農林課）

この度は、「松原亨賞」という大変光栄な賞をいただき、誠にありがとうございます。

南魚沼市は、新潟県南部、魚沼盆地の中心に位置している魚沼コシヒカリ発祥の地です。恵まれた自然環境と代々受け継がれてきた米作りの技、たゆまぬ努力により生産される最高品質のお米「南魚沼産コシヒカリ」。この動画を通じて、少しでも多くの方に南魚沼産コシヒカリとその産地である南魚沼市を知っていただけたら幸いです。

また、動画で活躍する農業者の姿を通じて、農業という魅力ある職業に興味を持っていただいた方が南魚沼の地を訪れることを願っています。

動画の注目ポイント

動画内の楽曲は、本動画のために書き下ろした完全オリジナルです！（0：00～0：25）曲の導入、（0：47～0：57）農業の魅力、（1：15～1：20）行事さなぶりを楽しむ農業者の姿、（1：49～2：25）曲のメインパートは必見です。





件名

国際大学 「IUJむすびばカレッジ」の開講について

内容

この度、国際大学（IUJ）は、令和5年1月21日（土）から毎月1回合計10回（予定）にわたり「IUJむすびばカレッジ」を開講します。

これは、国際大学の教員が、それぞれの専門分野から地域の皆さまにご関心いただける内容（テーマ）で行います。

「国際大学って聞いたことあるけどよくわからない」「どんな先生が教えているの」といった疑問を持たれている方も多いのではないのでしょうか。カジュアルな雰囲気で行いますので、ぜひ気軽にご参加ください。

記

1. 日時：令和5年1月21日（土）15時30分から17時（予定）
2. 会場：南魚沼市事業創発拠点「MUSUBI-BA」
（JR上越線六日町駅東口1F）
3. 費用：無料
4. 定員：30名
5. 対象：関心のある方どなたでも歓迎
6. 内容：【第1回】ポーランドからの手紙

－1989年から今のウクライナを考える－

※ドリンク・スイーツをご用意します

添付資料

- ・IUJむすびばカレッジチラシ

《お問合せ先》

南魚沼市総務部企画政策課

担当：高橋・須藤

電話 025-773-6672

FAX 025-772-3055

開講!

IUJ むすびばカレッジ

国際大学（IUJ: International University of Japan）は南魚沼市に所在する大学院大学です。国際関係学研究科と国際経営学研究科の2研究科で構成され、授業はすべて英語で実施。世界60ヵ国から380名の学生が集まり共に勉学に励んでいます。教員の多くは欧米大学院で博士号を取得しており、国際的な実務経験を経て国際大学（IUJ）で教鞭をとる教員もいます。

2023年1月より新たに開始する「IUJむすびばカレッジ」は、国際大学（IUJ）の教員がそれぞれの専門分野から地域のみなさまにご関心いただける内容をお話する機会といたします。『国際大学って聞いたことあるけど、何を教えている大学がよくわからない』『どんな先生が教えているんだろう?』といった疑問を持たれている方が多いのではないのでしょうか。カジュアルな雰囲気でおこないますので、ぜひ気軽にご参加ください。

時期 毎月第3土曜日 15:30～17:00（開場15:15）

会場 南魚沼市事業創発拠点 MUSUBI-BA（JR上越線六日町駅東口1F）

※お車でお越しの場合は、南魚沼市役所駐車場をご利用ください。

費用 無料

定員 30名

対象 関心のある方はどなたでも歓迎（高校生、大学生、社会人など）

申込 下記よりお申込みください

開催予定

1月

21日⊕

「ポーランドからの手紙

—1989年から今のウクライナを考える—

スピーカー：伊丹 敬之 学長

オープニング挨拶：南魚沼市 林市長

ドリンク・スイーツを
ご用意いたします



2月

18日⊕

「「戦略」からみるウクライナの不思議」

スピーカー：山口 昇 教授



※3月以降も実施を予定しております。

主催：国際大学

共催：南魚沼市

問い合わせ先：

国際大学

スーパーグローバル大学推進・地域連携室

（Eメール）sgu@iuj.ac.jp

（電話）025-779-1459

参加申込方法

●ウェブサイトからお申込み

<https://www.iuj.ac.jp/jp/sgu-event-musubibacollege/>

●電話にてお申込み

*次回実施分を前日まで受け付けています。



1月

「ポーランドからの手紙ー 1989年から今のウクライナを考えるー」

スピーカー：伊丹 敬之学長

概要

2022年からのロシア侵攻によるウクライナ国民の悲劇は、ロシアの崩壊・衰退の第二幕でもある。第一幕は、1989年のポーランドでの連帯政権の発足、ベルリンの壁の崩壊の果ての、1991年のソ連邦の崩壊である。

私は偶然に、1989年のポーランドに紛れ込み、共産主義の崩壊をこの目で見た。この経験は伊丹家にも巨大なインパクトを与え、結局、私の次男はポーランドに留学し、ポーランド人女性と結婚した。その女性のお母さんの家族は、むかしウクライナに住んでいた人たちだった。

そんな個人的体験をまじえ、ウクライナがどのような国か、ポーランドとどう違うのか。なぜ、ロシアの侵攻後に数百万人のウクライナ人がポーランドに避難したのか、などをお話したい。

伊丹 敬之 (いたみ ひろゆき)

国際大学学長。

1945年愛媛県生まれ。1967年一橋大学商学部卒業、1969年同大学院商学研究科修士課程修了、1972年カーネギー・メロン大学経営大学院博士課程修了 (Ph.D.) スタンフォード大学経営大学院客員准教授、一橋大学商学部教授・同学部長、商学研究科教授、東京理科大学イノベーション研究科教授、同研究科長等を歴任。2008年一橋大学名誉教授、2010年ブロッツワフ経済大学 (ポーランド) 名誉博士号。紫綬褒章 (2005年) 受章、宮中講書始の儀御進講者 (2009年) 日経・経済図書文化賞 (1978年)、経営科学文献賞 (1981年)、日経・経済図書文化賞 (1982年)、日本公認会計士協会中山MSC基金賞 (2002年) などを受賞。

現在在外役職 J F E ホールディングス株式会社、商船三井株式会社の社外監査役。2017年9月から現職。

2月

「「戦略」からみるウクライナの不思議」

スピーカー：山口 昇教授

概要

ウクライナ侵攻開始以来腑に落ちないことが多い。ロシアは何故このような挙にでたのか？ 強大なロシア軍に対してウクライナが善戦しているのは何故か？ 「10日でキーウ陥落、8月までにウクライナ併合」というロシアの目論みは見事に外れた。何故そのような誤算をしたのか？

このような疑問を解く上で見逃せない点がいくつかある。第一に指導者の個性だ。プーチンとゼレンスキー以外の指導者がロシアとウクライナを率いていたとすれば結末は異なると想像できる。第二に国際社会による支援の意義だ。2014年のクリミア併合以来、西側の支援は目覚ましく、兵器や技術の供与だけでなく訓練にも注力してきた。第三に核の影だ。ロシアの核使用という恐怖は拭えない。ウクライナで起きたことを反芻して、このような不思議の背景を考えてみる。

山口 昇 (やまぐち のぼる)

国際大学国際関係学研究所 教授。

1951年東京生まれ。防衛大学校卒業 (応用物理学専攻) 後、陸上自衛隊航空操縦士として勤務。1988年 Fletcher 法律外交大学院修士課程修了。1991年～1992年、ハーバード大学オリン戦略研究所客員研究員。在米大使館防衛駐在官、陸上自衛隊航空学校副校長、陸上自衛隊研究本部総合研究部長、防衛研究所副所長、陸上自衛隊研究本部長などを歴任した後、2008年12月退官 (陸将)。2009年4月～2015年3月防衛大学校教授。2013年3月から9月まで東日本大震災対応のため内閣官房参与 (危機管理担当) を兼務。2012年4月から2015年3月まで政策研究大学院大学連携教授。2015年4月から現職。